



～迅速な治療と早期回復に注力～

福井赤十字病院

脳卒中専用病床を拡充

コロナ禍でも機能維持

新型コロナウイルス感染症の重症患者に対応する集中治療室（ICU）の負担が軽減するとともに、感染拡大時も脳卒中患者の受け入れ態勢を維持するため、福井赤十字病院 福井市は脳卒中患者の専用床「脳卒中ケアユニット（SCU）」を拡充する。病棟を増設し、看護職員の人員も強化。改修工事を進めおり、2年後に稼働する。（前田博一）

人員強化、23日稼働

同病棟は、脳卒中の急患を24時間365日受け入れるなど、血液浄化療法等による高度な医療が行われている。その条件を満たした日本脳卒中学会認定の「1次脳卒中センター（PSC）」の一つとして、カテゴリー別の手術室や検査機器の血行回収療法に常時対応できる、地域で最も充実された施設となるPSC増設施設にも提供される。

脳神経センター内に隣接したSCU bed約100平方メートル、11月下旬に着工し、改修が計画中。約100平方メートルに広がり、個室を多数有し、新型コロナなどの緊急時には脳卒中以外の患者も受け入れられるようにしている。

脳卒中中は血管が詰まる脳梗塞、血管が破れる脳出血、主に血管の動脈硬化が破裂するくも膜下出血の発症、救命と後遺症防止のため、発症直後の早期治療が極めて重要となる。SCUは脳卒中中の急性期患者を24時間体制で受け入れる専用病棟で、多職種の特任チームが治療などに当たる。

脳卒中中は血管が詰まる脳梗塞、血管が破れる脳出血、主に血管の動脈硬化が破裂するくも膜下出血の発症、救命と後遺症防止のため、発症直後の早期治療が極めて重要となる。SCUは脳卒中中の急性期患者を24時間体制で受け入れる専用病棟で、多職種の特任チームが治療などに当たる。



脳卒中患者を受け入れる福井赤十字病院の専用病棟「SCU」。新型コロナウイルスの感染拡大時も機能を維持するため拡充する＝11月、福井市

国内外で活躍 選手ら表彰

県高体連 指導者含む38人



県高体連の本年度表彰式・栄誉賞授与式が20日、福井市の県体育館で行われ、国内外大会へ活躍した選手20人、指導者38人を表彰した。福井県の新世代コナラウス杯、豊全国高校や国公立校

表彰される選手と指導者は2日、福井市の県体育館

県高体連 指導者含む38人



表彰される選手と指導者は2日、福井市の県体育館

▲24時間対応手術可能な体制を整備しています

平成18年の出来事

-